

# 直播（ちょくはん）栽培はお任せください！水稲「上育471号」

低温苗立性が優れ直播栽培に適し、多収で玄米品質が優れ、食味が「ななつぼし」並の水稲新品種を開発しました。

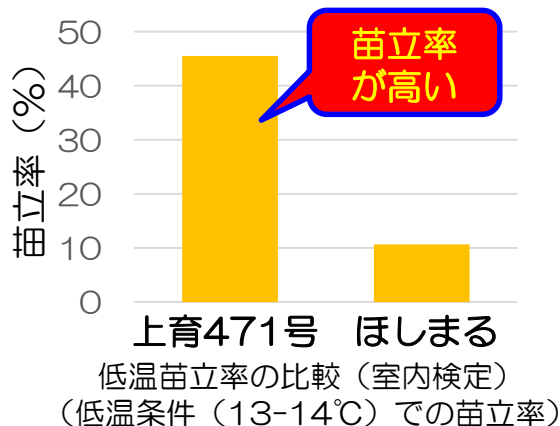
## 背景

- 農家の高齢化、戸数減少が進む中、水稲栽培の省力化が求められています。直播栽培は育苗作業が不要であるため有効な省力栽培技術です。
- 直播栽培品種「ほしまる」は、低温苗立性が劣る（低温条件下では出芽が劣り苗があまり立たない）ため生産が不安定で、収量性も十分ではありません。直播栽培の普及拡大のため、低温苗立性に優れ、収量性が高い良食味品種が必要です。

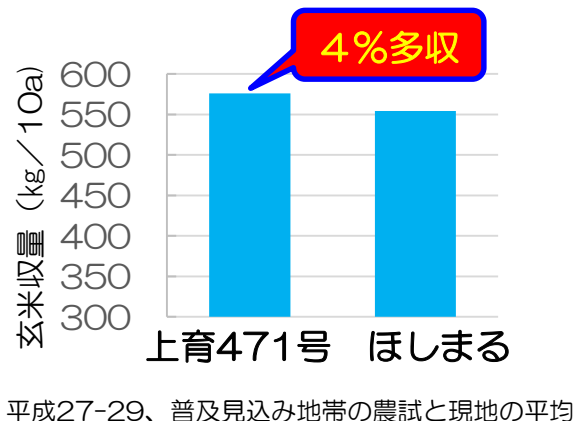


## 成果

- 1** 低温苗立性が優れます。  
※低温条件下でも出芽し、苗が立ちます。



- 2** 道北・道央地域での直播栽培では、「ほしまる」より多収です。



- 3** 白未熟粒（腹白・乳白等）が少なく、玄米品質が優れ、食味は、「ななつぼし」並に優れます。



## 期待される効果

- 「ほしまる」の全てに置き換わり、1,000haの普及が見込まれます。
- 水稲栽培の省力化を推進し、北海道米生産のさらなる発展に貢献します。

共同育成機関：中央・道南農業試験場、試験実施機関：農業改良普及センター、北海道農業研究センター、実需評価実施メーカー